

第16期受講生募集のご案内（令和7年～令和8年度生）

フレッシュ&Uターン 農業後継者セミナー



青梅市 並木 芳雄さん（野菜コース）



小平市 吉野 陽香さん（野菜コース）

受講生募集

フレッシュ&Uターン農業後継者セミナー

お申し込み お近くのJA（農業協同組合）へ

お問い合わせ F&U セミナー事務局または、お近くの農業改良普及センター、JA（農業協同組合）へ

- JA 東京中央会（F&U セミナー事務局）** TEL 042 (528) 1371
〒190-0023 立川市柴崎町 3-5-25 JA 東京第1ビル 4F JA 東京中央会
<https://www.tokyo-ja.or.jp/>
- 東京都区部農業改良普及センター** TEL 03 (3678) 5905
〒133-0073 江戸川区鹿骨 1-15-22
- 東京都北多摩農業改良普及センター** TEL 042 (465) 9882
〒187-0002 小平市花小金井 1-6-20
- 東京都西多摩農業改良普及センター** TEL 0428 (31) 2374
〒198-0024 青梅市新町 6-7-1
- 東京都南多摩農業改良普及センター** TEL 042 (674) 5971
〒192-0364 八王子市南大沢 2-2 パオレビル6階

未来を継ぐ私たちの力で

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

東京都
JA東京中央会
(公財)東京都農林水産振興財団

新規就農者・Uターン農業後継者の皆様へ

皆様はこれからの農業経営について、大きな夢や希望はもちろんですが、それとともに不安もお持ちではありませんか。実践的な農業経営を学ぶ機会があったら？と感じられたことはないでしょうか。

フレッシュ&Uターン農業後継者セミナー（F&Uセミナー）は、こうした皆様楽しく農業技術や経営管理を学ぶ研修です。カリキュラムは、農業技術についての講座はもとより、経営管理全般にわたる幅広い内容が含まれています。本セミナーはまた、皆様仲間とともに農業について学び、考え、語り合う「仲間づくりの場」でもあります。

是非この機会にご参加ください。

受講資格

次に掲げる要件を全て満たす者。

- (1) 近年都内で就農した者及び開講までに都内で就農が確実な者
- (2) 農業所得を得ることを目指す者
- (3) パソコン、スマートフォン等の基本的な操作（メールの送受信、インターネット配信動画の閲覧等）ができること
- (4) 当該受講期間が始まる年度の4月1日時点で概ね60歳までの者
- (5) 各講座に確実に出席し、ホームプロジェクトにも確実に取り組む意思のある者

募集定員

90名

(北多摩農業改良普及センター管内30名、区部・西・南多摩農業改良普及センター管内各20名)

※定員を超える場合は、ご希望に添えない場合があります。

研修期間

令和7年4月～令和9年3月の2カ年間

平日開講

選択科目

選択科目は下記コースより1つを選んで下さい。



※受講人数が10人以下のコースは、地区研修の選択科目を農業改良普及センター間合同で開催することがあります。

受講料

18,000円(この受講料は全体研修分です。地区研修は別途実費がかかる場合があります。)

修了の要件

- ・全体研修、地区研修について、それぞれ5割以上出席し、受講態度が良好である方。
- ・ホームプロジェクトのレポートを提出し、その内容が適切であると認められた方。

申込方法

受講を希望される方は、管轄のJA（農業協同組合）へお申込みください。

※ご不明な点は、管轄のJAへお問い合わせください。

申込期間

令和7年3月10日(月)まで

- 主催 東京都 JA 東京中央会
- 協賛 (公財) 東京都農林水産振興財団

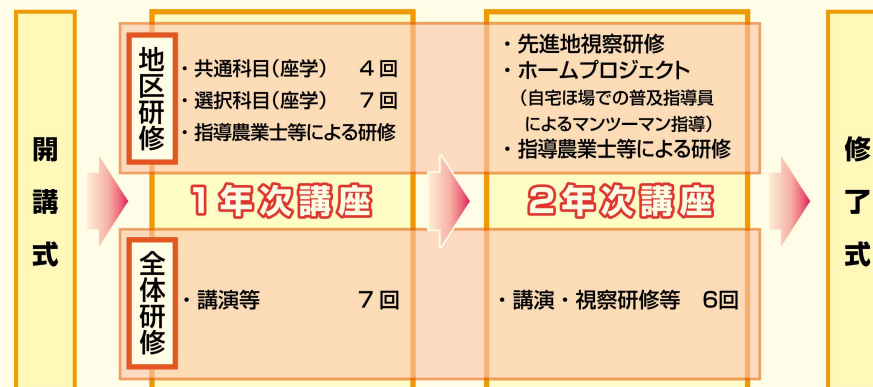
新規就農者・Uターン

農業後継者の皆様へ



全体研修のグループワーク

セミナー修了までの流れ



セミナーの主な内容

(1) 地区研修 (各地区ごとの研修)

共通科目のほか、選択科目として野菜、果樹、花き、植木、畜産の5コースの中から一つを選び、講義・視察など、農業改良普及センター等にて生産技術を学びます。

(2) 全体研修 (合同研修)

消費者ニーズや、流通・経営・都市農政・税務等について講演・視察研修などを通して学びます。



地区研修の講義 (指導農業者等による研修)



カリキュラム



1年次カリキュラム

野菜・果樹・花き・植木・畜産コース			
地区 研修	共通科目 4回(座学)	<p>農家経営 東京農業の概要、望ましい農家経営の確立、女性の経営参画 他</p> <p>病害虫防除・食の安全(畜産コースは家畜防疫) 病害虫の種類と生態、食の安全、農業の特性と使用上の留意点 他</p> <p>農業労働・獣害対策 健康で働くための労働管理、野生獣による農作物被害と対策</p> <p>土壌肥料・植物生理 東京の土壌の特徴、土壌と作物、種子の発芽、温度と生育 他</p>	
	選択科目 7回(座学)	<p>野菜 野菜栽培の現状、品種と作型、野菜の生育、栽培環境と生育、野菜の栽培管理、施設と露地での野菜栽培 他</p> <p>果樹 果実の生産と消費、果樹と環境、果樹の一生と一年、花芽分化、果実の発育と組織的变化、果実の発育と成分変化 他</p> <p>花き 花き生産・流通・消費の現状、病害虫の特徴と防除、これからの切花生産 他</p> <p>植木 都市における緑の役割、緑化樹木生産の現状、緑化樹木生産の新たな動き 他</p> <p>畜産(酪農) 乳牛の一生と働き、乳牛の特性、飼料の特性と給与水準、搾乳方法、乳牛の繁殖管理、自給飼料の生産と利用 他</p> <p>畜産(養鶏) 鶏の特性、鶏の品種と選び方、ふ化と育すう、産卵のための生理、産卵鶏の栄養と飼料給与、鶏卵の品質と管理、鶏卵の流通 他</p>	
		指導農業士(※)等による研修(第1回)	指導農業士等の生産ほ場において、指導農業士による指導のもと、実践的な栽培技術や農業機械の取り扱いなどについて学びます。(指導内容は指導農業士等により異なります。)
		全体研修 7回(5ページ参照)	講演(新技術、農業経営に関わる税の知識等)



地区研修の講義(座学)

2年次カリキュラム

野菜・果樹・花き・植木・畜産コース		
地区 研修	先進地見学研修	先進地の視察
	指導農業士(※)等による研修(第2回)	指導農業士等の生産ほ場において、指導農業士による指導のもと、実践的な栽培技術や農業機械の取り扱いなどについて学びます。(指導内容は指導農業士等により異なります。)
	ホームプロジェクト	普及指導員のマンツーマン指導による実践的な問題解決学習です。研修生が各自のテーマを決め、各自のほ場で技術の習得に努めます。その中で発生するさまざまな問題を、普及指導員のアドバイスを受けながら解決していくことで農業者としてのレベルアップを図り、その結果をレポートとしてまとめて、発表します。
全体研修 6回(5ページ参照)		講演(都市農政、消費者ニーズ、資産管理に関わる税の知識等)、先進地視察研修等

※指導農業士とは、東京で農業を始めようとする人や就農間もない新規就農者に対し、研修等を通じて農業経営に役立つ技術を伝える役割を担っている農業者のことで、東京都より認定を受けています。(カリキュラムの内容は変更になる場合があります。)



全体研修の視察(農林総合研究センター)



地区研修の視察(八王子市)





全体研修のご案内

全体研修では、都市で農業を営むために必要な農業情勢や税知識、農業経営を行うための専門知識などを身に付けるために座学を中心とした研修会を行います。

1年次に7回、2年次に6回の計13回ほど研修会を実施いたします。また、F&Uセミナー受講生全員が参加する開講式や修了式も開催いたします。



<全体での開講式の様子>



<座学研修の様子>



<グループワーク研修の様子>



<視察研修の様子>

カリキュラム案 (第15期参考)

1年次

1. 開講式・記念講演 (都市農業の情勢)
2. 販売戦略①
3. 先輩農家の話①
4. 農林総合研修センター視察
5. 都市農業経営者のための相続と相続税
6. 経営管理実務と農業経営改善計画
7. 確定申告の実務

2年次

1. 始業式・記念講演 (東京都の制度等)
2. 販売戦略②
3. 営農活動のデザイン思考課題解決
4. 先輩農家の話②
5. 固定資産税の基礎知識
6. 消費税の基礎知識

情勢によって内容を変更する場合がございます。

～JA東京青壮年組織協議会 令和6年度正副委員長からのメッセージ～

私たちJA東京青壮年組織協議会は、都内の意欲ある若手農家1,760名の盟友で構成されています。

盟友には、野菜農家・果樹農家・花き農家・植木農家・畜産農家と幅広く東京で農業を営んでいます。

このF&Uセミナーは、都青協の盟友の多くも過去に受講してきており、地域を超えたよき仲間として、セミナー同期の繋がりがあります。

皆様も本セミナーを通じ、知識習得と仲間づくりを頑張ってください。



先輩からのメッセージ

～第15期F&Uセミナーを受講して～



植木コース

蓮見 一成さん (西東京市)

私の家は、祖父の代はキャベツを中心とした野菜、父の代で植木へと移行し、現在は主に植木の卸売販売を営んでいます。私自身は会社員として20年弱勤め、昨年退職して父と共に植木業を始めました。

就農とほぼ同時にセミナー受講を開始したため、右も左もわからない状態からのスタートでした。植木コースの授業はもちろん勉強になりましたし、全体授業での野菜・果樹・花きコースの受講生との交流で視点が広がり、たくさん刺激をもらえました。授業の後は受講生のみならず飲みに行きました。

これからの農業を担っていく頼もしい仲間ができたことも、このセミナーを通して得られた貴重な財産だと思っています。



野菜コース

小澤 揚徳さん (あきる野市)

私は30代を過ぎたころから、独立して仕事をしたいと思うようになり、自分の興味のある分野で続けられる仕事を探していました。幼少期よりサツマイモが好きだったこともあり、サツマイモをつくりたいと思うようになりました。令和2年に就農し、現在はサツマイモ、タマネギ、スイートコーンなどを栽培しています。

これまで、農業に携わることが全くなかったため、右も左もわからない状況でしたが、そのような時に、F&U農業後継者セミナーの話を聞き、農業を基礎から学ぶことにしました。

F&U農業後継者セミナーでは、座学を中心に作物の栽培や農業の使い方など様々なことを教わりました。特に、農家同志の繋がりが仲間ができたことはとても良かったです。



果樹コース

奥住 潤哉さん (日野市)

ナシ「新高、稲城、豊水」やブドウ「高尾、シャインマスカット」、キウイフルーツの果樹を贈答用としての宅配と庭先直販を中心に、学校給食向けに野菜も栽培しています。

F&Uセミナーは両親が過去に受講していたこともあり、基本的な農業の知識を学ぶことや、仲間づくりのために受講しました。

セミナーを受講して、基本的な農業に関する知識はもちろん、都内全域の受講生と仲間ができ、繋がりが広がりました。

また、指導農業士研修では先輩農家から、実習形式で自分が気になっていたキウイフルーツ等の剪定方法の話を受けて、勉強になりました。



花きコース

鈴木 貴博さん (世田谷区)

世田谷区で市場出荷主体の花壇苗生産をしています。

就農と同時に、世田谷区と地元JAが主催の農業後継者セミナー「せたがや農業塾」に入り、実習を中心に学んでいました。世田谷区以外の農業の様子も知りたいと思い、農業塾の3年目(最終年度)にF&Uセミナー1年目の受講を始めました。

F&Uセミナーでは、都内の他の地域の花き農家を視察する機会があり、先輩農家に色々な話を聞くことができ良かったです。経営、品目、施設など自分の圃場とは違っていている部分が多く、勉強になりました。セミナーを通じて自分の視野が広がったと思います。